

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか		○		人員配置は足りているが サービス向上のため人員確保に努めている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			月一回のミーティングを行い、支援等についての話し合いを行っている。随時スタッフ同士で振り返りや情報共有も実施。新人教育については振り返りシート作成、教育係が評価・振り返り実施。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			協議会、その他の機関からの研修案内があればスタッフ研修参加。 参加できなかったスタッフにはその時の研修内容を参加したスタッフがミーティング等の時間を使って社内研修実施。 また、3カ月に1回、スタッフの資質向上に繋げることを目的とした社内研修も実施している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			モニタリングの機会を設け、直接保護者から聞き取りをして計画作成。 支援内容の評価を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			発達年齢に合わせたモニタリングシート作成。 それを使用して支援につなげている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			打ち合わせを行い、各スタッフの役割を分担してプログラムを進めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			各児童のプログラムを個々に作成。 様々な体験ができるように工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		平日、長期休暇は課題設定を行っている。 休日はデイは休み。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			当日行う支援の役割分担を前日までに設定して、当日再確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日に気になった点は、 スタッフ間で情報共有を行っている。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		日々見直し、活動の向上化を図っている
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			基本として各児童の担当者が参加。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		保護者を通して学校の情報共有が多い。連絡調整は直接学校と共有を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアの体制が整えられてない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		スタッフにて情報を記載した手紙を保護者経由で共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	27	通常プログラム以外のイベント行事を取り入れているか	○			月毎に行事を取り入れ、全員が参加できるように考えている。
	28	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		地域の祭りに毎年参加。それ以外で参加することが少ないため、今後参加できるよう検討中。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			電話等で児童の発達状況を伝えあい、保護者とともに児童の課題に取り組んでいる。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	
関係機関や保護者との連携	31	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	32	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	
保護者への説明責任等						

	34	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保護者からの苦情内容を聞き、迅速かつ丁寧に対応している。 スタッフ間の話し合いと情報共有を行い、改善策を会社全体に行き渡るように努めている。
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	SNS・HPを活用しての情報発信の充実を図る方向で動いている。
	36	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報の係る書類はすべて鍵のかかる書庫で厳重管理している。
	37	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		児童の障がいに合わせて意思疎通を図っている。 保護者とはその都度話をし、連絡をとっている。また子育てで精神的負担を抱えている保護者もいるため思いを受け止めつつ助言等を行っている。
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	
	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		新型コロナウイルス感染対策に関するマニュアルも新たに作成。それに沿って消毒等実施している。
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	41	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	虐待防止研修に参加した職員が後日事業所内で研修で学んだ内容を伝える
	42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		最初の契約時、またやむを得ず身体拘束を行う場合になったら事前説明を行い、同意書にサインをいただいている。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
非常時等の対応	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		発生した場合は、報告書作成し、会社全体に情報共有を実施している。